様式第３号

事務事業評価表（平成２６年度）

事業コード	496	課コード	0508	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策　■経常　□なし

１．事業の概要(PLAN)

(1)事業概要	①事業名	基本事業	老人福祉センター管理・運営事業	実施計画への位置づけ	●有　○無
		個別事業	老人福祉センターの運営	②部課名	健康福祉部・高齢者支援課
	③事業主体	●市　○その他（　）		④対象地区	□我孫子　□天王台　□湖北　□新木　□布佐　■全市
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	1 人　（換算人数　0.05 人）
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	77,832 千円	当該(開始)年度	（当　初）98,775 千円　（うち人件費　465 千円） （変更後）千円　（うち人件費　千円）
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33203	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし
		基本計画地区別計画への位置づけ	○有　●無	部門別計画への位置づけ	（計画名）
(2)目的	施策目的・展開方向	高齢者が生きがいを持って充実した生活を送ることができるよう、高齢者によるボランティア活動を支援するとともに、就労機会の確保に努め、社会参加・社会貢献の機会と場の充実を図ります。		事業目的	○老人福祉センターに指定管理者制度（施設管理・運営業者を公募により選定する制度）を導入している。 ○指定管理者による民間事業者のノウハウを活用して質の高いサービスを提供する。また、経費の削減を図る。
(3)事業内容	内　容	○高齢者が主に利用する施設であり、情報交換、健康の増進を目的に家に閉じこもりがちな高齢者の利用促進を図る。 ○経年劣化したつつじ荘ボイラーの改修を行う。 ○経年劣化した西部福祉センターの空調及び照明器具の改修を行う。		当該年度執行計画	○２６年９月、２７年３月に選考委員会を開催し、指定管理者による運営に対しての進行管理、評価を行い施設利用の促進を図る。
				当該年度活動結果指標	年間稼働日数　単位：日　想定値：272　実績値：

(4)達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	指標種類	指　標	単位	(5)現況値	(6)目標値
当該(開始)年度	指定管理者制度の導入により、施設の利用者を増やす。	直接	１日当たりの平均利用者数	人	286	290
３年後	指定管理者制度の導入により、施設の利用者を増やす。	直接	１日当たりの平均利用者数	人	0	300
最終(概ね５年後)	指定管理者制度の導入により、施設の利用者を増やす。	直接	１日当たりの平均利用者数	人	0	300

(7)事業実施上の課題と対応		代替案検討	○有　●無

(8)施行事項		平成２５年度		平成２６年度			平成２７年度		平成２８年度	
		政策 内　容	金額(千円)	政策 内　容	金額(千円)	実績値(千円)	政策 内　容	金額(千円)	政策 内　容	金額(千円)
	実施内容 費　用	・つつじ荘指定管理料（施設修繕費含む 大型バスＤＰＦ装置 乳化剤１個18ℓ 含む。） ・指定管理者選考委員４人 3,500円×４人×２回 西部福祉センター指定管理料 （施設修繕費含む） ＊ つつじ荘地下重油タンク改修 ＊ 西部福祉センター放射能除染作業委託料	41,771 28 35,623 2,500 3,550	・つつじ荘指定管理料（施設修繕費含む 大型バスＤＰＦ装置 乳化剤１個18ℓ 含む。） ・指定管理者選考委員４人 3,500円×４人×２回 西部福祉センター指定管理料 （施設修繕費含む） ＊ つつじ荘給湯ボイラー改修工事 ＊ つつじ荘暖房ボイラー改修工事 ＊ 実施設計委託料 ＊ 西部福祉センター空調設備改修工事 ＊ 西部福祉センター和室照明器具改修	41,771 28 35,999 2,916 2,592 863 13,640 501		・つつじ荘指定管理料（施設修繕費含む 大型バスＤＰＦ装置 乳化剤１個18ℓ 含む。） ・指定管理者選考委員４人 3,500円×４人×２回 西部福祉センター指定管理料 （施設修繕費含む）	41,771 28 35,999	・つつじ荘指定管理料（施設修繕費含む 大型バスＤＰＦ装置 乳化剤１個18ℓ 含む。） ・指定管理者選考委員４人 3,500円×４人×２回 西部福祉センター指定管理料 （施設修繕費含む）	41,771 28 35,999
	予算(済)額	合　計	83,472	合　計	98,310		合　計	77,798	合　計	77,798
(9)財源内訳	国庫支出金	補助率 100 %	3,550	補助率 0 %	0		補助率 0 %	0	補助率 0 %	0
	県支出金	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0		補助率 0 %	0	補助率 0 %	0
	起債	充当率 0 %	0	充当率 0 %	0		充当率 0 %	0	充当率 0 %	0
	一般財源		79,663		77,748			77,736		77,736
	その他の財源	□特会 ■受益 □債務 □基金 □その他	259	□特会 ■受益 □債務 ■基金 □その他	20,562		□特会 ■受益 □債務 □基金 □その他	62	□特会 ■受益 □債務 □基金 □その他	62
(10)人件費等	換算人数(人)		0.05		0.05			0.05		0.05
	正職員人件費		465		465			465		465
	嘱託職員報酬額		0		0			0		0
	臨時職員賃金額		0		0			0		0
事業費(予算(済)額＋正職員人件費)			83,937		98,775			78,263		78,263
(11)単位費用（事業費／活動結果指標）		308.59千円／日		363.14千円／日						

２．事業の評価(DO+CHECK)

評価項目		事　前　評　価		事　後　評　価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））		改善検討
必要性	(1)事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	指定管理者制度では、管理主体の範囲が民間事業者等にまで拡大される。このことにより、民間が保有している施設運営に関する専門的知識などのノウハウを活用することが可能となり、これまで以上に住民のニーズに対応した質の高いサービスの提供や、より効果的な施設運営が期待できる。		○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由／想定どおりでなかった原因＞		○要 ○不要
	(2)市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	●①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できない （理由）□法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない ■その他	＜その他の内容＞ 指定管理者による管理運営	□①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 ＜その他の内容＞	＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞	○要 ○不要
		○②自治体である市が推進すべきである （理由）□市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他	＜その他の内容＞			
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり）	参加・協働の内容 ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ●③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 ＜その他の内容＞	工夫の具体的な内容 運営に対しての評価について、市民代表者を含む選考委員会を開催している。	実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）	参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 ＜期待した以上となった理由／期待以下であった原因＞	○要 ○不要
環境への配慮	環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点 □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 ＜その他の内容＞ 該当なし	取組む内容	実施した具体的な内容	環境への配慮 ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった ＜想定どおりでなかった原因＞	○ 要 ○ 不要
効率性	(1)目標設定は適切か？	現況値(a)(人)：286 目標値(b)(人)：290 目標値の妥当性のチェック □①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		達成状況 実績値(f)(人)： 達成率(%)(f/b×100)： ○①目標値達成 ○②目標値未達成 ＜目標を達成した理由／未達成となった原因＞		○要 ○不要
	(2)事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減 事業費(c)(千円)：98,775 事業費削減額(d)(千円)：△14,838 事業費削減率(%)：△17.68 実施予定の対策 □①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤ＰＦＩ等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他 ＜削減の内容＞		実施状況 実績値(g)(千円)： 対事業費(%)(g/c)×100： ○①想定事業費未満 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ＜超過理由等＞	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった ＜想定どおり削減できなかった原因＞	○要 ○不要
	(3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)：0.29 単位：人 費用単位：10万円 計算方法 ●①単年度の指標：目標値×費用単位／事業費 ○②複数年度の指標：（目標値－現況値）×費用単位／事業費		達成状況 実績値(h)： 対目標値(%)(h/e)×100： ○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下	＜目標値以上となった理由／目標値以下であった原因＞	○要 ○不要

３．事後評価

○現状どおり推進　○拡充　○縮小　○結合　○休止　○廃止　○事業手法見直し　○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向